



たもんじ 2024年8月号 交流農園便り Vol.77



たもんじ交流農園がNHK ひるまえほっとに登場!!



7/31(水)11:30から放映された「ひるまえほっと」では、都市農業の可能性に注目する、東京生まれ東京育ちの料理家・きじまりゅうたさん(画面右)が、東京の農業の魅力を探るシリーズの第2弾として当農園を取り上げて頂き、寺島なすの歴史と魅力、てらたま協議会の活動、寺島なすの特徴をいかに活かして頂いた二つのレシピ等をご紹介頂きました。ご進行を務められた丹さん(画面左:茄子之介帽をかぶっている)は、撮影日と6/30の初物収穫祭にも当農園にお越し頂いたのですが、原稿を依頼したところご快諾頂きました。

特別寄稿!!

地域の宝「寺島なす」よ、未来へ

丹 反美(たん・ともみ)
NHK首都圏局「ひるまえほっと」
担当ディレクター/リポーター

今回はNHK首都圏局の生活情報番組「ひるまえほっと」内の特集コーナー「きじまりゅうたの都市農業×TOKYO～墨田区 寺島なす～」の取材でおじゃましました。寺島なすを目にしたのは初めてで、卵大サイズだと聞いてはいましたが、まさかこんなに小さいとは!と驚きました。

収穫する人たち誰もが笑顔だったことが1番印象的で、みんなで協力し収穫する様子から、寺島なすが世代を超えた地域の人たちをつなぐツールになっていると感じました。まさに地域の宝ですね!実際に寺島なすのピザや鉄板焼きを食べてみると、皮はしっかり、実はトロっとして、うまみが凝縮された味わい。今までに食べたことのないなすで、とりこになってしまいました。



井戸水のかけ流し水田はありそうでなかった!このアイデアはすごいと思いました。田植えって思いのほかコツがいることもわかりました。

さらに、寺島なすが誰でも踊れる盆踊りにもなっていることにもびっくり。寺島茄子之介音頭はとても軽快で親しみやすい楽曲と、郷土愛が詰まった振り付けが魅力的。みんなで輪になって踊ること、寺島なすのを知ることができ、みんなの一体感も生まれて素敵でした。多くの人を魅了する寺島なすの力を感じました。

これからも地域の宝「寺島なす」をみなさんで大事に守って未来へつなげていってほしいと思います。



夏はイベント盛りだくさん!! 7/28(日) “流しそうめんとスイカ割り”で夏を楽しむ会”

7月28日、親子あそび「元気いっぱい」(代表:皆川未来さん)の皆さんが、“竹の流しそうめんとスイカ割りを親子で楽しむイベント”を、たもんじ交流農園で開催しました!



「親子での体験や遊びを通して、子どもたちに多様な学びを提供したい」と皆川未来さんが企画したイベントに、7組の親子と、“たもんじ”の仲間達も参加して、総勢30人がワイワイ楽しみました!「流しそうめん」や「スイカ割り」を初めて体験するお子様も多く、～美味しかったあ～楽しかったあ～と、皆さんの素敵な笑顔に囲まれて、とっても幸せな一日でした!(小川剛記)



夏はイベント
盛りたくさん!!

8/4(日)雨水ネットワークで雨水アクティビティ!



これもグループに分かれて実施しました。ところが、あれれ?、意図した結果にはなりませんでした。これぞ筋書きのない科学実験の醍醐味ですね。楽しかったです。(末林記)

8/1(木)~4(日)に開催された「第14回雨水ネットワーク全国大会2024」の最終日「雨水は世界を救うか?」のエクスカージョン(共同で行う視察や野外調査)のコースに、たもんじ交流農園と多聞寺が選ばれ、30数名の方が、隅田川神社、木母寺、防災団地見学の後、来園頂きました。グループに分かれての寺島なすの収穫体験の後、橋本淳司先生と小島花梨さんによる水循環、緑地の効用についてのアクティビティが開催され、都市の舗装された地面と、農地・ビオトープ・雨水タンク等とがどれだけ下水の量を減らすことができるかの実験を



夏はイベント
盛りたくさん!!

あっ、土の香いがする!

8/11 城東支部農園部:枝豆収穫祭に参加して

中小企業診断士 大久保 透さん



最寄り駅から歩いて数分、その香りに導かれるように住宅街の小道を歩いていくと、かわいらしい暖簾が目に入りました。「たもんじ交流農園」。「あ!ここか!!」…住宅街の中に、ひょっこりと現れた小さな手作り感満載の農園です。

今日は中小企業診断士でつくる城東支部・農園部の枝豆収穫祭。「バーベキューやりますので、ぜひいらしてください」そんなお誘いを受けて、初めて参加させていただきました。20人ほどの皆さんが笑顔で迎えてくださいます。もう皆さん、収穫作業に入っています。幻のナスともいわれた「寺島なす」、そしてぶりっとした「枝豆」、テラスには「巨峰」も実ります。枝豆は収穫後の残渣(茎・葉・根など)を細かく切って新たな土作りに活かしていきます。ハサミで切るたびに青っぽい緑の香りが鼻をくすぐります。

都会生活の中で知らずに縮こまっていた心が、その香りでほぐれていき、癒やされていたのが感じられました。緑と青空…素敵な空間ですね。手作りの石窯でピザを焼き、バー

ベキューの煙が立ち昇ります。冷えた飲み物と採れたて野菜の味わい。最高でした。

「わーっ」歓声が上がりました。子どもたちも参加してのスイカ割りです。見事に割れると大人も子どもも笑顔がはじけます。小さな農園で過ごした時間は、人のぬくもりと癒しの香りに満たされた宝物の時間となりました。



夏はイベント
盛りたくさん!!

8/18(日)鐘ヶ淵町会の寺島なす収穫祭に参加して!

梅若小学校PTA会長、プロボクサー 齊藤 司さん



梅若小学校PTAで子どもたちに声をかけて、8月18日の寺島なす収穫祭に30名程で参加させていただきました。5月に苗植え体験をしている子どもたちは、収穫したなすを使ったピザを食べることも楽しみにしていました。

まずは子どもたちで収穫ですが、自分たちで苗植えしたものがちゃんと育ち、なすになっていることに喜びます。収穫したなすを水洗いしたらみんなでピザ作りをしました。具材にピーマンやコーン、チーズ、それから子どもたちで切ったなすをトッピングするのですが子どもたちは楽しく盛り上がりました。私はピザ窯でみんなが作ったピザ焼きを担当しました。窯の前はとても暑く汗だくになりましたが、子どもたちの「早く食べた〜い!」の可愛らしい姿が私のモチベーションです。寺島なすを使った焼きたてのピザはめちゃくちゃ美味しかったです。なすが苦手な子もピザと一緒に食べると「おいしい!」。子どもも大人もみんな、お腹いっぱいになりました。♪

苗植えをする、収穫をする、みんなで食べる。子どもたちにとって貴重な体験であり、夏休みの思い出となりました。たもんじ交流農園はみんなの居場所になるような素敵な場所です。子どもたちだけではなく、お父さん、お母さん、そして地域のみなさんが繋がることのできる機会をいただきありがとうございました!



《切り戻しの目的》 8月までに多くの実を収穫したなすの枝を、そのままにしておくと、枝の中の栄養が枯れ果ていい実がなくなります。しかし、多くの実をつけた枝を思い切って短くし、肥料をあげて、水をあげて、新しい枝を大きく伸ばしてあげる「切り戻し」により、秋以降の収穫を確保することができます。

《切り戻しのポイント》1 夏の間に多くの実を付けた枝こそ切り戻して短くする。だいたい8月中に(なすの実を)取りきりますが、その間になすの枝の栄養分も採り尽くしてしまいます。これを切り戻して短くし、新しい枝を伸ばしてあげると、それに実をつけるようになります。

2 次の枝が伸びる手前で切る 実が付いていて勿体ないと思うかもしれませんが、思い切って根本の、次の枝が伸びるところで(惜しげもなく)切ります。

3 (残す枝に)花芽がついている場合は、花芽を採る 先端に花芽が付いている場合は採ってください。花が咲いて実が付くと、植物というのは、そこに栄養分を集中させるので、そこから先に伸びなくなってしまいます。

4 もう少しで実が収穫できる場合は、収穫してからにする 収穫した方の枝を切って、残った方の枝を伸ばしていきます。これから実が成ってくるような若い枝を残して、収穫した枝はもう落としていきます。

5 あとは枝がじゃまにならないところを残していく 6 収穫する度に、どこまで戻そうかと考えていく

《切り戻しの後の追肥と水やり》この後、必ず追肥をして水やりをしてください。マルチが引いてある場合は、マルチをめくりあげて、8-8-8等の肥料を二掴みくらい、根っこの上の部分にあげて、水を撒いて肥料分を吸わせませす。



YouTube 動画 (4分38秒) URL
https://youtu.be/rsSuIDb_ksc?feature=shared



切り戻しのポイント

佐々木さん

収穫した枝はもう落としていっちゃう

マルチはまた戻しておいてください。なすは、南方系の植物なので、根っこが暑いとよく育つのですが、マルチを敷いていることにより、水がすごく入りにくくなりますので、そこは気をつけてください。水が切れてる状態だと、艶がなくなってきますので、夏場の水やりは忘れないようにしてください。

採るのに最適な大きさは、小ぶりの卵の大きさと、へたの部分の切る位置は、日持ちさせるのであれば長く、すぐ食べるんなら短く切ってください。以上のことを守って剪定して、新しく出た枝からたくさんのおいしいなすを収穫し、楽しい農園ライフを過ごしてください。

「てらたま農園部から」

第33回～ハーブで虫除けスプレーづくり～

暑い日が続いていますが、この時期の悩みは暑さに加えて虫対策。主に蚊よね。6月に行われたすみだ環境フェアで「緑と花の学習園で育てたハーブを使い虫よけスプレーをつくろう」というワークショップがあり、体験して来ました。素材がハーブなので、香りが良い。市販の虫除けは顔に付けるのは憚られるけど、これなら安心よね。使用しているのは8種類のハーブ。作り方もそんなにハードル高くなさそう。

農園部のメンバーにお知らせしたら、さすがチャレンジ精神旺盛な皆様、農園のハーブガーデンにあるものだけで作っちゃおう!となったのでした。

【ハーブの虫除けスプレーの作り方】※農園部バージョン

1. ローズゼラニウム、アップルミント、ローズマリー、ラベンダーを使用
2. ハーブの葉を2センチくらいに刻む
3. 消毒した瓶に刻んだハーブを入れ、アルコール度数35度のホワイトリカーに漬け込む(2週間から4週間ほど)
4. 手ぬぐいなどで濾してハーブエキスを抽出し、スプレー容器(アルコール対応の物)にハーブエキス2:精製水8の割合に希釈する。

以上です。なお、使用に関して、アレルギーなどある方は注意が必要です。



2 葉を刻む



3 ホワイトリカーに漬け込む



4 完成:薄めて使用

「虫よけスプレー」をつくろう

【緑と花の学習園】レシピから

※消毒した瓶にローズマリー、ミントなど虫よけにいいといわれるハーブをちぎりながら入れ、アルコール度数35度のリカーに漬け込み(3週間~1か月くらい)完成。
ハーブのエキスを抽出し、市販の精製水で希釈します。



【使用したハーブ】

- ・ローズマリー
- ・アップルミント
- ・コモンセイジ
- ・ローズゼラニウム
- ・アメリカンブラックペパーミント
- ・ニホンハッカ
- ・コモンタイム
- ・ヨモギ

NEXT STAGE 第14回 尾曲涼子さん(4-2①)



～次に私がしたいこと～ “自然の中で暮らすこと”



私の夢は自然の中で暮らすことです。小さい頃からの夢でしたが、自然のない、畑のない墨田区生まれ墨田区育ちの私は、「自然」というものに憧れています。

しかし、仕事との兼ね合いもあり(家も建ててしまった)墨田に住むことになってしまったので、現実的に自然の中の暮らしが遠のいてしまいました。それなら家にいながら自然を感じられる空間にしたいと思いGREENのある暮らしを目指しました。今年の夏には大自然、北海道へ家族旅行に行ったのですが、空港に降り立った瞬間「空気が美味しい」と感動。窓

を開けて車に乗れば「寒いー！」と嬉しい文句。人間って、空気の美味しいところにいると心が豊かになっていくのかと感じました。(心なしか兄妹喧嘩少なかったような)自宅の自然化計画はまだ未完成ではありますが、墨田にしながら、自然を感じられるよう、家族の心が少しでも豊かになるよう(なるか?)楽しみながら進めていこうと思います。



NEXT STAGE 第15回 末林和之さん

～次に私がしたいこと～ “青果リレー2024”



さて、既にご案内の通り、てらたま協議会恒例のイベント「青果リレー」が、10/6(日)に開催予定の「すみだまつり・こどもまつり」に、すみだ花体操のみなさんとコラボで(出発式が)参加させて頂くこととなりました。7/21(日)の「第3回寺島なす★祭り」ではエキシビションをご覧いただいたわけですが、10/6(日)には、錦糸公園スタートで、実際に外に出て、すみだの街中

をリレーしていくことを計画しています。ただし当日は、時間の関係で、押上・曳舟辺りまでしか行けないため、前日(10/5(土))や前の週(9/28(土)、29(日))に、これまで毎年おじゃましていた東向島界隈の商店街やケアサービス施設等に「青果」を運ぶイベント「青果リレーオリジナル(仮名)」および、本番の「青果リレーリハーサル」も予定しています。については本番は勿論、いずれかの日に走って頂く「青果ランナー」を募集致します。

トーチキスをして頂くときは誰しも満面の笑顔になり、トーチを掲げて走る際は、誰しも嬉しそうで誇らしげでさえあります。リレーに参加頂く商店街やケアサービスの方々喜んで頂くことの達成感は半端ないものがあります。でも今のところ「歩道」を走って(実際には早歩き程度です)いますが、いつかは、「車道」を前後に伴走車を連ねて走り、東京オリンピックでは実現しなかった地域をあげての大イベント「青果リレー」を実現したいと目論んでいます。これが私のNEXT STAGE!!



東京オリンピック時の香川県での青果リレー。いつかはこんな規模でやってみたい。

今年、秋の日ざし(多分)の下、一緒に走ってもいいと思った方、是非ご連絡ください。

9/15(日) 18:00～	寺島なす★祭り! 打ち上げ(かめパン Cafe)
10/6(日) 10:15～10:35	青果リレー2024 出発式 in すみだまつり! (錦糸公園/墨田区総合体育館)
10/11(金) 18:30～20:30	地域活動スタート講座(ユートリア多目的室)
10/26(土) 14:00～	寺島茄子之介音頭 すみゆめ踊り行列(岸野雄一フロティース)(隅田公園そよ風広場)

水アドバイザーご指導日: 9/8(日) 10/13(日) 10:00～15:00	農園部作業日: 毎週日曜 8:30～
Free Coffee フリーコーヒー: 9/16(月祝) 11:00～	農園を眺めながらコーヒーのある時間を楽しみましょう!



たもんじ交流農園便り
No.77 般 2024.8.30 発行
題字 田村風來門
編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)
▲セブン-イレブン 記念財団 (2018年 2020年に助成金を頂きました)



FaceBook